

公表 事業所における自己評価総括表

○事業所名	運動療育型児童デイサービス木津川校		
○保護者評価実施期間	令和7年10月22日	～	令和7年11月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 56	(回答者数)	52
○従業者評価実施期間	令和7年10月22日	～	令和7年11月10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 12	(回答者数)	12
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年12月10日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	事業所が公表している支援プログラムは事業所の提供する支援内容にあっている。	運動療育の質の向上をモットーにプログラムにそって療育ができるよう指導している。	サービススタッフという発表会を通じてこれまでの成果を保護者に見せる機会を設けており、引き続き保護者へ満足していただけるように努める。
2	イベントを楽しみにして来所してくれる子どもが多い。	運動を意識したユーモアのあるプログラムを考慮し職員間でアイデアを出し合い実現化している。運動だけではなく、工作や外食、外出イベントも実施しており、子どもたちが楽しみながら経験値を高められるようにしている。	利用児童の人気の高いイベントや保護者の求めている内容をリサーチして職員全体でイベント企画案を出していく。
3	日ごろから子どもとの状況に向き合い保護者に伝わりやすい支援を行っている。	LINEでの連絡帳や動画や送迎時での保護者との会話、個別の面談などを通して普段から保護者にも寄り添った対応を職員一人一人が意識している。	少しでも早く保護者の意向に答えられるよう、職員一人一人が専門性を高めていく。

事業所の弱み (※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1 放課後児童クラブや児童館との交流の機会がない。	放課後児童クラブや児童館との交流はないが、他の地域との交流の場を設けている。	地域の高校生を招いてイベントを実施したり、高校のイベントに参加することができた。また、地域の消防署へ見学したり、警察署から警察官にきていただき安全教室を実施することができたので、引き続き地域へ開かれた事業運営に努めていきたい。
2 父母の会や保護者会の開催がない。	保護者間でも必要としていない家庭もある。スーパーキッズフェスタを行い、保護者が集まる機会になっている。	スーパーキッズフェスタを通して保護者が繋がりを持っていた家庭もあったので、フェスタを通して保護者との交流を持てる機会を検討したり、保護者の意見を聞いて必要に応じて対応していきたい。
3 事故防止でマニュアル等の各種マニュアルを策定して、避難訓練を実施しているが、保護者へ周知が十分にされていない。	避難訓練実施前には、事前にスーパーキッズ通信を通して保護者にお知らせをしているが見逃ごされている可能性がある。	スーパーキッズ通信を通知するとともに、予定表に分かりやすく避難訓練実施日を記載していく。また、当日は動画や写真にて避難訓練実施時の様子を丁寧に伝える。